平成 19 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 2 次)

専門科目

経済理論・経営理論分野

以下の問 1 と問 2 から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済理論) 以下の (1)、(2)、(3) から 2 問を選び答えなさい。

- (1) 供給者が価格受容者 (price taker) であるとは、どういう事態を指すか。また、供給者が価格受容者でないという現実が、市場の成果にどのような影響を与えるか。
- (2) ケインズ理論において、所得、雇用、投資、利子率、貨幣量の間にはどのような関係があるか。
- (3) 土地利用を自由な市場に委ねない政策の経済理論的根拠は何か。

問 2 (経営理論) 以下の (1)、(2) の問のうちいずれか一題を選び、回答せよ。

- (1) 経済学において市場概念は非常に基礎的で、重要な概念である。それは、一般に自由主義に基づく市場調整機構を市場経済と呼び慣わしていることにもあらわれている。一方、マーケティングや経営学においても、市場は大事な概念である。だが、そこには顧客や顧客志向という概念も、つかず離れずで存在しているようである。
このようなことを踏まえて、市場に対する経済学のとらえ方と経営学（ここではマーケティングを含む）のとらえ方には違いがあるのか、ないのか。そして、もし両者の間に違いがあるとするなら、それはどのようなことか。また、そうした違いは、経済学と経営学の物事のとらえ方にどのような影響を与えるのか。これらに関して、自らの考えを述べよ。
- (2) 今日の経済は、一般に成熟経済といわれる。では、こうした成熟経済の特徴は、経営的にみると、どのような問題としてあらわれているか。これについて説明せよ。なお、その場合には、ライフサイクルというとらえ方などは一つの有用な分析用具となろう。また、そうした成熟経済下の経営課題に対処するための基本的な方向性についても、あわせて自らの考えを述べよ。